

ヤマハエンジン「OX88」の  
'89F-1 世界選手権参加について

昭和 63 年 9 月 9 日



ヤマハ発動機（株）は、このほど、西ドイツのザクスピード フォーミュラレーシング社（以下ザクスピード社）（代表：エリック・ザコフスキー氏、所在地：ニーダーツィセン・西ドイツ）とのタイアップにより、「ウエスト ザクスピード ヤマハチーム（West Zakspeed Yamaha Team）」を結成し、当社が独自に開発したエンジンを搭載したニューマシンにて、1989年フォーミュラ1世界選手権に参加することを決定しました。

ザクスピード社は、F-1をはじめ、各種カーレースにおけるマシンの製造やレース活動に豊かな経験を有するチームです。

また、当社は、1984年にレーシングエンジンOX66を開発して以来、日本国内のF-2、F3000レースに参加してきました。

このたびの「ウエスト ザクスピード ヤマハチーム」で使用するヤマハエンジン「OX88」は、75度V型8気筒、5バルブ、3,489ccで、最高出力600ps以上を発揮します。

※「ウエスト ザクスピード ヤマハチーム」のドライバー、スポンサーなどにつきましては、決定次第、お知らせいたします。

#### ヤマハOX88 主要諸元

シリンダーレイアウト	75度V型8気筒
排気量	3,489cc
最高出力	600ps以上/11,000rpm
最大トルク	43kg-m以上/9,000rpm
許容最大回転数	12,000rpm
バルブレイアウト	5バルブ/1気筒
カム駆動方式	プライマリー：ギヤ/セカンダリー：コクドベルト
シリンダーブロック	鋳造アルミ、アルミ ウエット ライナー
燃料供給方式	電子制御式燃料噴射
点火方式	電子制御式CDI
乾燥重量	145kg以下
寸法	長さ：約560mm、巾：約570mm



ご参考

## ザクスピード フォーミュラ レーシング社の概要

ザクスピード社は、フォーミュラ1用マシンを製造し、FIA フォーミュラ1世界選手権に参加するレーシングチームとして、1984年に設立されました。

ザクスピード社の創業者であるエリック・ザコフスキーのモータースポーツ活動は、1968年、同氏がはじめてレースにエントリーしてから3年後の1971年に設立されたザクスピード レンспорт社によって展開されてきており、ザクスピード社はザクスピード レンспорт社と兄弟会社の関係になります。

現在、ザクスピード レンспорт社は、西ドイツ選手権グループAツーリングカー部門に、BMWの代表チームであるBMWジュニアチームとしてエントリーしています。このチームがエントリーした1987年に、早くも選手権を獲得しています。それ以前にも、ザクスピード社が開発したエンジンを搭載するマシンの製造や、レース活動において幾多の輝しい実績を残してきました。

◎1968年以来、100以上の西ドイツ選手権レースに優勝。

◎ザクスピード社製レーシングマシンにより、6つの西ドイツ選手権、3つの欧州ヒルクライム選手権、インターシリーズ選手権、西ドイツ、フランス、イタリアにおけるグループ2選手権を獲得。



◎1978年、最初のターボチャージ式1.4リッターエンジンが、1978年、フォード・コスワースBDシリーズエンジンをベースにして製造されました。このエンジンはさらに開発され、ザクスピードスーパーカプリス、IMSA GTPシリーズに使用されているフォードカー、グループC2世界選手権スポーツカー、欧州ラリークロス選手権カーなどに使用されるに至りました。

会社名：ザクスピード フォーミュラ レーシング社

(Zakspeed Formula Racing GmbH&Co.KG)

所在地：ブロールタールシュトラッセ, ニーダーツィセン 5476, 西ドイツ

(Brohltalstrasse, Niederrissen 5476 West Germany)

代表者：エリック・ザコフスキー

(Erich Zakowski)

設立：1984年5月

資本金：DM50,000 (約400万円)

従業員数：34名

会社概要：フォーミュラ1レーシングカー、ターボチャージ式フォーミュラ1レーシングエンジンの製造。ウエスト ザクスピード フォーミュラ1チームのFIAフォーミュラ1世界選手権へのエントリー。



科学 技术 教育 出版社

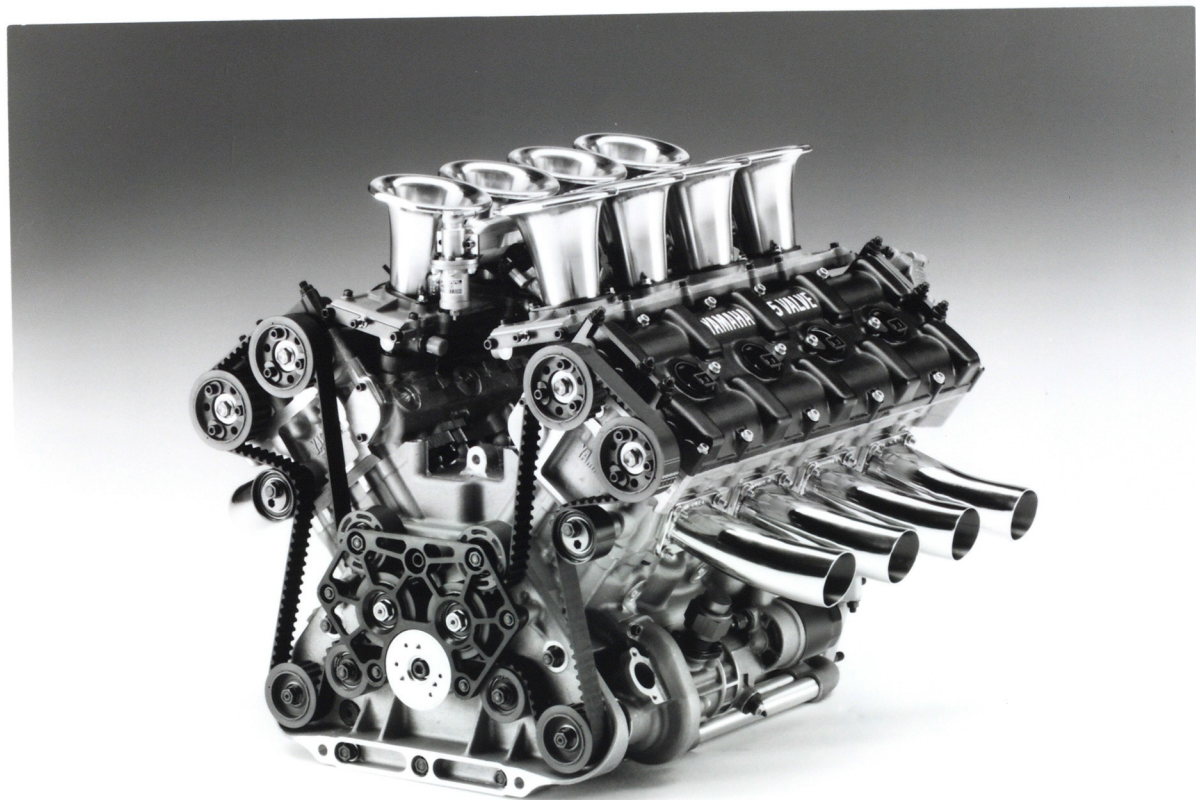
第 一 版

上

海

防

大



科学 技术 教育 出版社